

えんじょいスポーツ

バトントワリング



キャンディー



どれみ

8月7日(土)に東京都足立区で行われました第32回全日本バトン選手権大会で優秀な成績を収めたバトントワリング教室「メロディーバトン」を紹介します。

メロディーバトンは発足して24年、小学生を中心に現在29人が所属しており、月3、4回金曜日に市内の体育館でレッスンを行っています。様々なイベントや大会への参加を目標として、みんなで仲良く楽しく活動しています。

今回の大会では、団体バトン小学生低学年部門において「キャンディー」が優勝、団体ポンポン小学生部門において「どれみ」が準優勝、個人の部門でも2位2人、3位3人と輝かしい成績を収めました。メロディーバトンが大会に出場するようになって12年、今回が2回目の優勝となりました。

子ども達は「振りが速くて、振り付けを覚えるのが大変だったけど、優勝できてうれしかった」と笑顔で話してくれました。

レッスンは「キャンディー」「プチリボン」「どれみ」のチームごとに分かれて行っており、通常レッスンでは、ストレッチ、検定試験、新しい技の練習などを行い、大会前になると大会の練習に集中します。

今後の目標を指導者の松野さんに何うと「コロナ禍でイベントがなく残念。コロナが収束したら市内のイベントにも参加したい。また来年も大会がんばります!」と話してくれました。

メロディーバトンの皆さん、来年の大会を目指してみんなで仲良く頑張ってください。

子ども工作教室～アルコールインクアートを楽しもう



8月28日(土)、東松山市在住のイラストレーターで、東松山市応援団員の絵子猫さんを講師に松山市民活動センターで「子ども工作教室」を行いました。インクにアルコール液を垂らし、色の混ざる様子や偶然できる模様を楽しみながら、親子一緒にアルコールインクアートを体験しました。大勢の参加者が「夏休み最後の土曜日に貴重な体験ができて良かった」と笑顔で話してくれました。

からだの衰え度チェック



8月24日(火)・25日(水)、大岡市民活動センターで「からだの衰え度チェック」を行いました。参加者は、血管年齢や握力を測定し、血管や筋肉の衰え度をチェックしました。体のバランスチェックでは、目を閉じたまま足踏みをしてその場から動いたかどうか、チェックしました。

現在のからだの衰え度をチェックするとともに、筋肉をつけるコツも教わりました。

十分な感染症対策のもと予約制で行い、2日間で54人が受講しました。次回は11月10日(水)・11日(木)に開催予定ですので、からだの衰え度をチェックしてみませんか。



この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真をさしあげます。

おすすめ 学校給食レシピ ~ひじきのサラダ~

監修 学校給食センター栄養教諭



10月27日(水)から11月9日(火)までの読書週間になんで、市内公立小・中学校で「図書館リストラテ～おいしいお話しあがれ!～」を実施します。期間中、本に出てくるメニューが学校給食に登場する予定です。学校司書さんと給食センターとで協力し、今回の企画が実現することになりました。今月紹介する「ひじきのサラダ」は、よしながこうたく作『給食番長』(好学社)という絵本に出てくる料理です。物語の中の給食のおばちゃんたちが作るおいしいひじきのサラダをイメージしました。学校の給食をめぐる、主人公の「番長」を中心に意外な話の展開や、個性豊かでないキャラクターも楽しい作品です。この他にも、いろいろな本からメニューを紹介していきますので、ぜひ献立表をチェックしてみてくださいね◎

- 材料(4人分)
- キャベツ 180g (大葉2枚)
 - 白こんにゃく 50g (1/3枚)
 - ニンジン 30g (1/3本)
 - 干ひじき 3g
 - ★ドレッシング
 - 酢 15g (大さじ1)
 - サラダ油 12g (大さじ1)
 - 砂糖 9g (大さじ1)
 - 塩 2g (小さじ1/3)
 - おろしニンニク 2g (小さじ1/2)
 - コショウ 少々
- ※給食で使用しているドレッシングは市販していないので、ご家庭で作ります。



- ～作り方～
- キャベツは1センチ幅、ニンジンは千切り、こんにゃくは2ミリ幅の短冊切りにする。
 - 干ひじきは洗って戻しておく。
 - 鍋にお湯を沸かし、ニンジン、キャベツ、こんにゃく、ひじきの順に鍋に入れて茹でる。沸騰したらざるにあげ、流水で冷やし、軽く絞って水気をきる。
 - ドレッシングの材料を合わせて混ぜる。
 - ③を④で和えて、できあがり!

問 学校給食センター ☎22-0741

人口と世帯(9月1日現在)		交通事故発生件数(8月中)		市内の空間放射線量測定結果	
人口: 90,304人	(- 23)	発生件数: 257件*		市内34か所で空間放射線量を定期的に測定しています。	
男: 45,426人	(- 5)	人身事故: 9件(死者: 0人、けが人: 10人)		9月の測定においても、基準値を下回っています。	
女: 44,878人	(- 18)	物損事故: 248件		測定結果の詳細については、市HPに掲載しています。	
出生(8月中): 49人	(+ 6)	*東松山警察署管内(東松山市・滑川町・川島町・吉見町)の件数			
死亡(8月中): 81人	(+ 12)	火災と救急件数(8月中)			
転入等(8月中): 267人	(+ 9)	火災件数: 3件			
転出等(8月中): 258人	(+ 2)	救急件数: 425件(交通: 14, 急病: 259, その他: 152)			
世帯数: 41,437世帯	(+ 28)	搬送人員: 349人			
*()は前月比					

埼玉県子ども動物自然公園

動物ZOO鑑

～園長おすすめ ツキノワテリムク～

たなかりえこ 田中理恵子園長

気の強いテカテカ鳥

ネズミの仲間が中心のエコハウチューには、1羽だけ鳥が展示されています。アフリカ産の光沢のある青い鳥「ツキノワテリムク」で、フライングケージ(現カワウソ舎)でかつて多数展示されていました。今は、この1羽となかよしコーナーの2羽、繁殖を目指した非公開ゾーンで3羽が飼育されています。

ツキノワテリムクはムクドリで、ケニアなどのサファリツアーに参加すると、必ずと言っていいほど出会う鳥です。背中が青、お腹がオレンジ、胸の白い帯(月の輪)が特徴で、一度見ると忘れません。雄と雌の違いはほぼ無く、胸の白い帯の幅が太いと雄、細いと雌といわれていますが、個体差もありはっきりと区別できません。他の鳥を蹴散らして餌を独り占めするほど性格が凶太く、野生でも観光客の食事のつまみぐいなどは日常のようです。

フライングケージでは、できるだけ気に入った巣を選んでもらおうと、サイズや入り口の大きさや形、東向きや南向きなど様々なタイプを設置していました。ほとんどの巣箱を多数で出入りするのですが、実際どこで卵を産み温めているのか、なかなかわかりませんでした。かといって全ての巣箱を覗いたら子育てをやめてしまう恐れがあります。そんな時、ある巣箱の下に近づいたら、私の頭めがけて数羽がくちばしと足で一斉に攻撃をしてきました。「ここなのね、この巣箱で繁殖しているのね。」とバレバレ。痛かったですが、この気の強さは飼育係にとってはメリットがありました。

なかなか繁殖が難しい鳥ですが、また数が増え、群れでスタッフを襲うほどいきいきとした展示を再開したいと願っています。

テカテカの青い羽が目立ちます

いろいろな巣箱を用意します

巣立った雛は自立できるように地味な色